

## 2023 年期 第 2 回テーマ

### 1～8 班

テーマ	<p>あなたは、3月31日決算の上場クライアント（以下、「会社」という。）の主査を担当しています。近年、会社は業績低迷に伴い売上が大幅に減少していますが、往査前に決算月である3月に全体の30%を超える売上高を2件の取引（A社とB社の取引先に対してのみ）から計上していることが判明しました。</p> <p>これを受けあなたの監査チームでは、当該2件について取引の検証として見積書、請求書（控）、物品受領書との突合の実施及び当該2社の取引先に対して残高確認することを計画しました。この前提を踏まえ、以下の2点を論述しなさい。（必要に応じて仮定を設定して頂いても構いません）</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 見積書、請求書（控）、物品受領書との突合を行うにあたり、あなたが確認すべきと考える点や留意すべきと考える点について論述しなさい。</li><li>② 残高確認の結果、A社は照会金額と回答金額に重要な差異があり、B社は回答を入手することができませんでした。このような状況下において、あなたが必要と考える監査上の対応について論述しなさい。</li></ol>
-----	--